

挑みつづける、変わらぬ意志で。



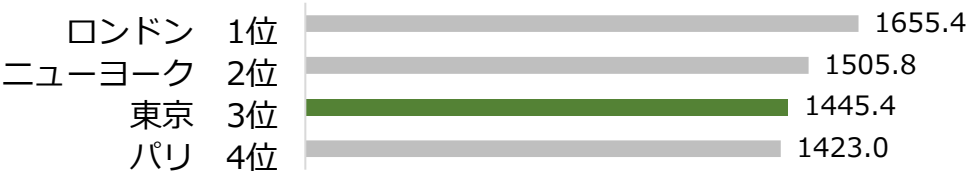
東京及び首都圏の国際競争力向上に向けた 都市政策等に関する要望

2025年6月12日
首都圏問題委員会

東京及び首都圏の課題

- 東京は「世界の都市総合力ランキング（森記念財団都市戦略研究所）」においてロンドン・ニューヨークに次ぐ総合3位で、4位のパリとは依然僅差
- まちづくりに関連する分野のなかでは、「交通・アクセス」「文化・交流」のスコアで総合首位のロンドンに大差をつけられている
- 東京の国際競争力をより向上させるためには、インフラ整備による国内外ネットワークのさらなる充実、都市のレジリエンス強化のほか、豊かな文化を活かし、人々の交流を促進させるまちづくりが重要

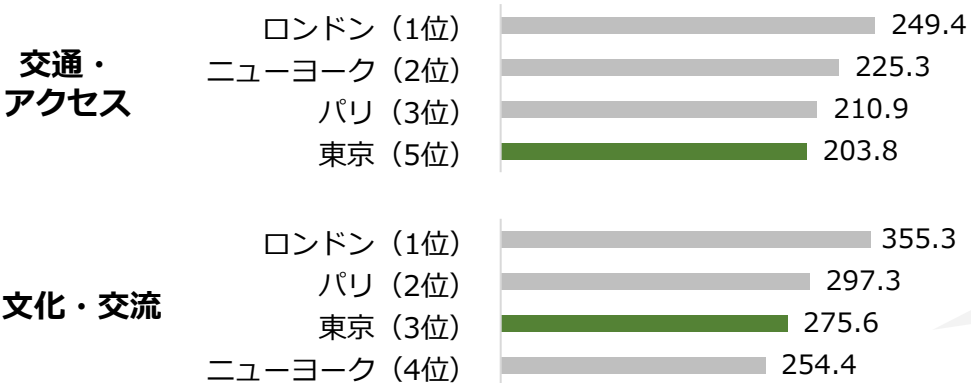
【世界の都市総合力ランキング】



【東京の指標別データ】

公共交通機関の利便性	1位
自転車での移動のしやすさ	6位
国際貨物流通規模	6位
国際線直行便就航都市数	27位
空港アクセス時間の短さ	31位

【総合トップ4都市の分野別順位（まちづくり関連）】



買い物・食事の魅力	1位
文化イベント開催件数	1位
ナイトライフ充実度	8位
世界遺産への近接性	19位

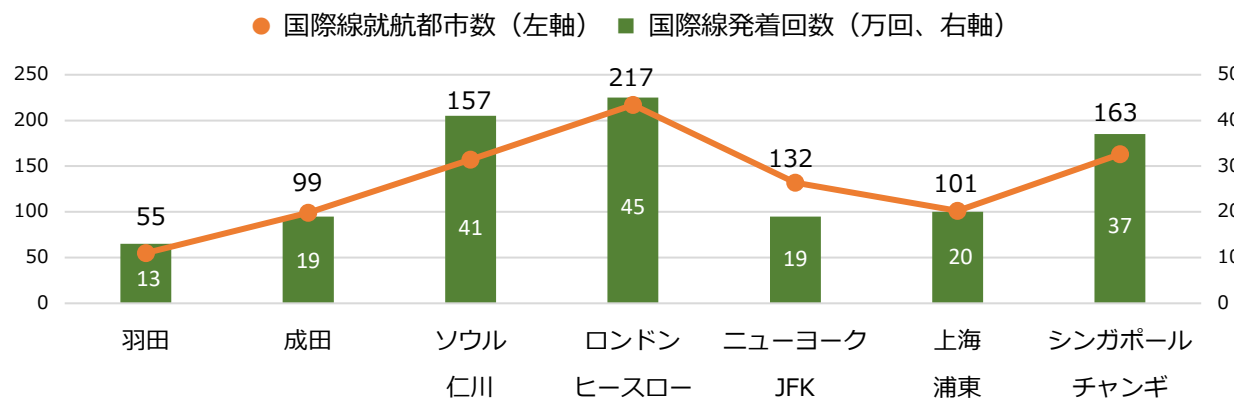
出典：「世界の都市総合力ランキング」森記念財団都市戦略研究所、2024年

東京及び首都圏の課題（交通・アクセス）

- 2030年に訪日客6,000万人という政府目標に照らして、現在の首都圏空港の国際線ネットワーク・発着回数は十分とはいえない。市街地とのアクセス面では成田空港には依然課題があり、羽田空港も向上余地がある
- 道路・橋梁・トンネルのほか、上下水道等を含めた都市インフラの老朽化対策がレジリエンスの面からも喫緊の課題

【主要空港における国際線の就航都市数・発着回数、市街地からのアクセス時間】

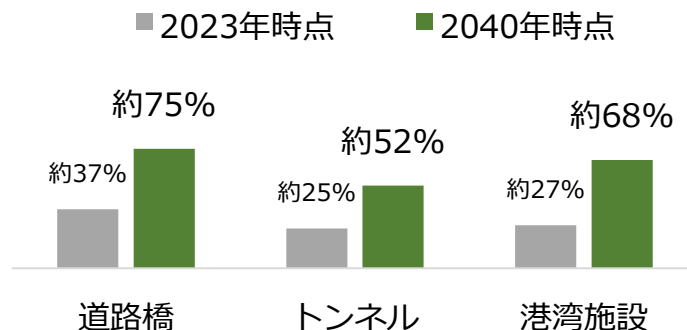
出典：各空港会社、オーソリティの発表データを事務局にて集計（一部推計）



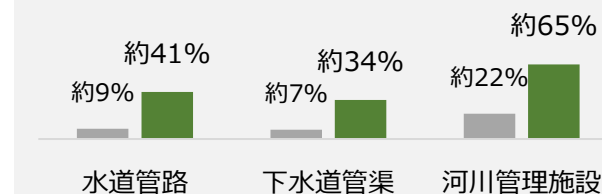
都市	所用時間
1 シンガポール	20～30分
2 羽田	25～45分
3 ロンドン	40～60分
3 上海	40～60分
5 ソウル	60～80分
6 成田	60～90分
6 ニューヨーク	60～90分

【建設後50年以上経過する交通インフラの割合】

出典：国土交通省



<参考：その他インフラ>



東京及び首都圏の課題（文化・交流）

- ナイトタイムエコノミーについて、地域の特色を活かして官民一体で取り組む体制が不足しており、ナイトスポットや夜間イベントの経済波及効果が限定的
- 海外で広く認知されているサブカルチャーや歴史文化について、まちづくりに組み込み、訪問者の体験価値を向上させることは都市の大きな差別化になる



出典：TOKYO LIGHTS実行委員会、東京都HP

×

地域の特色

官民一体で取り組む体制



地域への経済波及

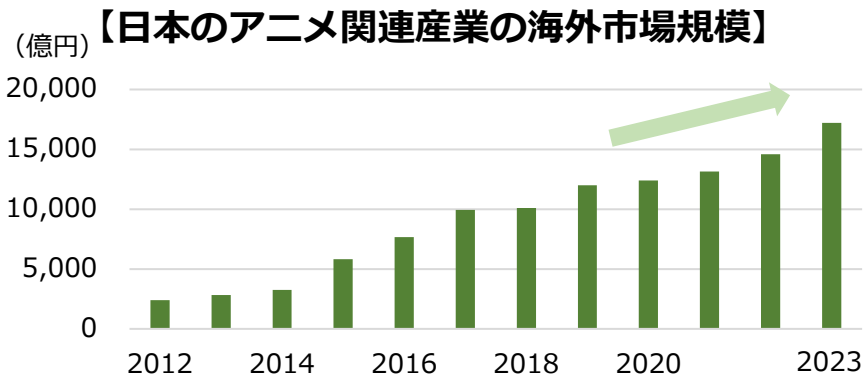
例 ロンドン

ニューヨーク

約2.3～
3.4兆円

約2.1兆円

出典：東京都産業労働局 資料



出典：「アニメ産業レポート2024」一般社団法人日本動画協会 (年)

【日本の文化と歴史は海外で広く認知されている】

外国人が日本に対して抱いているイメージ（複数回答）

米国	1位	豊かな伝統と文化を持つ国		
	2位	自然の美しい国	豪州	ASEAN
	3位	経済力、技術力の高い国	1位	2位
			インド	中南米
			2位	2位

出典：「海外における対日世論調査」外務省、2024年

要望の構成

【重点要望】

1. 国際競争力強化に資するインフラ整備

- (1) 空港を核とした交通ネットワーク整備
- (2) 都市インフラの老朽化対策
- (3) まちづくり事業の継続
- (4) まちの居心地向上

2. 国際文化都市東京の実現

- (1) ナイトタイムエコノミーの活性化
- (2) 漫画・アニメを活用したまちづくり
- (3) 歴史文化を活かしたまちづくり

【継続要望】

- 1. インフラ整備等の迅速かつ着実な推進
- 2. 施策のスピードアップに向けた環境整備
- 3. まちづくりにおけるGX・DXの推進

1. 国際競争力強化に資するインフラ整備

(1) 空港を核とした交通ネットワーク整備

◆ 空港から市街地へのアクセス強化

- ・（鉄道）羽田空港アクセス線、新空港線（蒲蒲線）、地下鉄7号線延伸の早期整備
- ・（道路）東京外かく環状道路、北千葉道路、新湾岸道路の早期整備
- ・（他）成田空港～羽田空港間のアクセス時間短縮

◆ 首都圏空港（成田・羽田）の就航都市数拡大・発着便数増加に向けた課題解消

- ・ 成田空港の滑走路延伸・増設計画の完遂、飛行制限時間帯の規制緩和、空港従事者の住環境整備等による人材確保・定着

◆ その他首都圏空港の機能強化

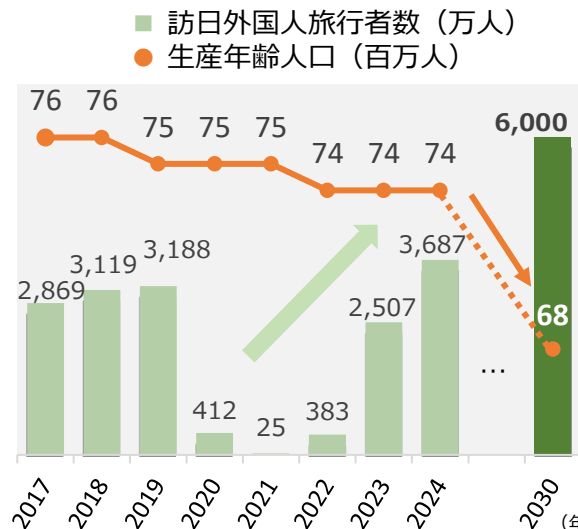
- ・ 入国審査や航空保安検査等のDX推進、羽田空港の駐車場増設

【羽田空港アクセス線の整備】



出典：東日本旅客鉄道(株)HP

【生産年齢人口減少を見据えた対策が必要】



出典：国土交通省・総務省・日本政府観光局資料を基に事務局作成

【入国管理業務等の効率性向上も課題】

（「国際空港評価」SKYTRAX社、2025年）

空港入国管理サービス部門	
1位	香港国際空港
2位	チャンギ国際空港/シンガポール
3位	バーレーン国際空港/バーレーン
4位	桃園国際空港/台湾
5位	チューリッヒ空港/スイス

■ 羽田・成田は10位圏外

■ 本部門の上位であるシンガポール・チャンギ国際空港は、総合評価でも羽田（3位）、成田（5位）を上回る

1. 国際競争力強化に資するインフラ整備

(2) 都市インフラの老朽化対策

◆ 予防保全の取組み推進

- ・ 老朽化するインフラの速やかな現状把握とリスク評価、整備費用の算出
- ・ 総費用の縮減効果が大きい予防保全型インフラメンテナンスへの転換

◆ 効率的なインフラ整備の促進

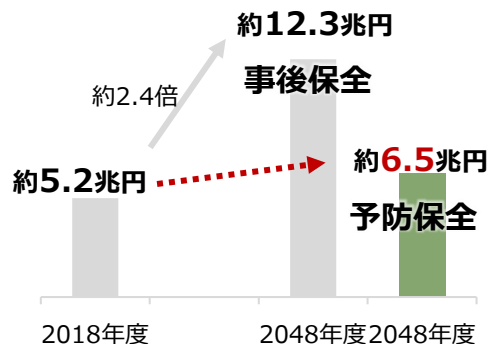
- ・ 道路や上下水道といった複数設備を同時に更新する取組みの推進
- ・ 隣接する自治体が協同で実施するインフラ整備の推進

◆ インフラ分野におけるDX促進

- ・ 公共交通と新技術を組み合わせたメンテナンスの検討

【予防保全の効果】

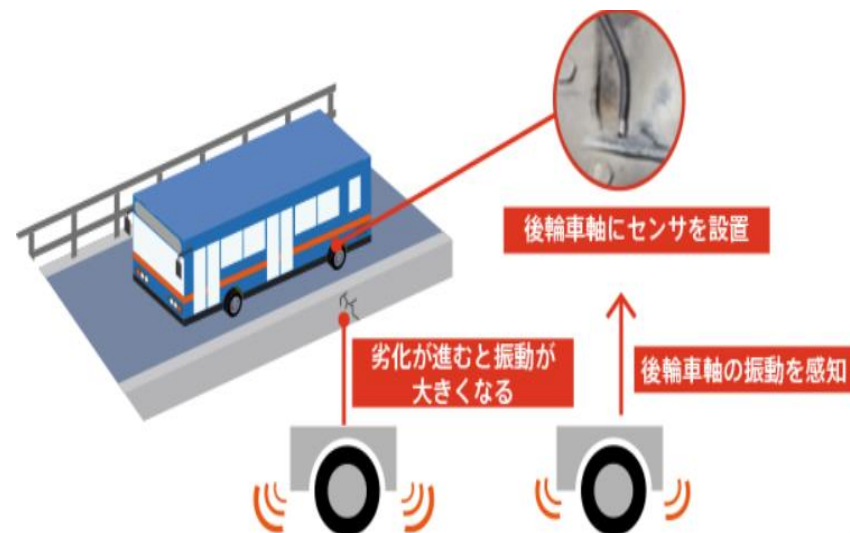
維持管理・更新費用の見通し



予防保全…施設の機能や性能に不具合が生じる前に修繕等の対策を講じること
事後保全…施設の機能や性能に不具合が生じてから修繕等の対策を講じること

出典：国土交通省資料を基に事務局作成

【路線バスを利用した道路の変状モニタリング】



出典：(株)構造計画研究所HP

1.国際競争力強化に資するインフラ整備

挑みつづける、変わらぬ意志で。

東京商工会議所 ⑦

(3) まちづくり事業の継続／(4) まちの居心地向上

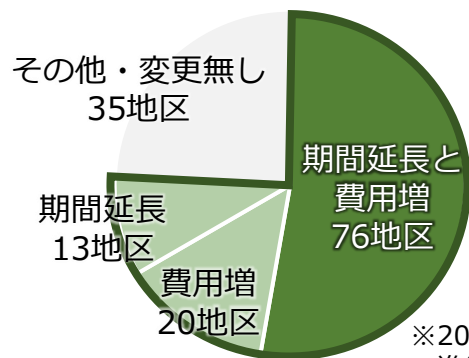
◆ まちづくり事業の継続

- ・ 国際競争力後退に繋がりにかぬ再開発事業の延期・中止を防ぐ措置の拡充
- ・ 建設業の人手不足対策（労働者の健康管理を前提としたより柔軟な労働時間管理の在り方の検討、巨大建設プロジェクトに係る着工時期の平準化 等）
- ・ 建設業者の生産性向上（工事書類の削減・簡略化、DX推進）

◆ まちの居心地向上

- ・ グリーンインフラの推進（交流と憩いをもたらす場の創出 等）
- ・ ウォーカブルなまちの整備及び道路空間の利活用
（自転車走行帯の整備、車・自転車・歩行者の共存、夜間イベントの開催 等）
- ・ エリアマネジメント団体への財源・人材確保支援、横連携強化のための旗振り
- ・ まちの美観向上、アフォーダブル住宅の供給 等

【市街地開発の計画見直し状況】



※2024年11月時点で
進行中の144地区



都立明治公園
(東京都HP)



ニューヨーク市内の自転車走行帯
(ニューヨーク市HP)

出典：日本経済新聞 2025年3月26日

「都市再開発、遅れ・費用増8割 工期平均2.7年延長」を基に事務局作成

2.国際文化都市東京の実現

(1)ナイトタイムエコノミーの活性化

◆ 行政の旗振りによる夜のビジョン策定

- ・ 東京におけるナイトタイムエコノミーの位置付けやビジョン、戦略の策定
- ・ ナイトタイムエコノミーに係る取組み成果の測定、公表

◆ ナイトタイム促進地区の導入

- ・ 官民が連携して重点的に取組むエリアの選定、イベント開催や課題解決への支援

◆ 東京の夜を代表する光の祭典の開催

- ・ 地域における経済波及効果の最大化を目指した行政主導による光の祭典の実施
- ・ 「ODAIBAファウンテン(仮称)」の着実なプロジェクト推進と周辺地域との連携

◆ 法整備、夜間交通の利便性向上、公共空間を活用したイベントの実施促進

【ナイトライフ充実度1位(※) ロンドン市の取組み】 (※)森記念財団都市戦略研究所
「世界の都市総合ランキング」2024年

■ 行政の旗振りによるビジョン策定

市による
ビジョン
の策定



ナイトツアーの任命

官民による委員会の発足

政策への
実装

- 夜の都市活動に関する調査研究
- 市内各区に対する夜間経済促進のためのフレームワーク提示

■ ナイトタイム促進区

目的

- ・ 夜間営業時間延長や活動促進による収入・客数増加
- ・ 住民・訪問者の店舗・サービスへの夜間アクセス向上
- ・ 多様な人々を歓迎し包括するメインストリートに
- ・ 良質な労働水準を享受するナイトワーカーの増加

効果

- 夜間の平均消費額が最大70%増加（前年同期比）
- 69%以上が「イベント中の方が安全だと感じた」と回答
- ナイトワーカーの健康福祉や労働水準向上を実施
- 屋外電源設備や街灯等の恒久インフラが新たに整備

出典：「Night Time Enterprise Zones Evaluation」 ロンドン市HP

2.国際文化都市東京の実現

(2) 漫画・アニメ／(3) 歴史文化を活かしたまちづくり

◆ サブカルチャー（漫画・アニメ等）による地域の魅力創出と適切な価値保存の推進

- ・ 漫画・アニメと関連した地域おこし
- ・ 公道使用柔軟化等のイベント促進、道路空間を活用したまち全体のデザイン促進（漫画・アニメ関連デザインの面的な活用）
- ・ 今後歴史的・経済的価値を生み出しうる漫画・アニメの制作関連物の保護・保存

◆ 東京の歴史的資産を再評価し、歴史文化を活かしたまちづくりに強力な後押しを

- ・ 歴史まちづくり法の活用
- ・ 歴史文化を活かした景観整備・保存



水木しげるロードのライトアップ
(大阪大学工学部HP)



オランダのミッフィー信号機
(tripadvisor)



池上本門寺 節分・豆まき
(池上本門寺HP)

1. インフラ整備等の迅速かつ着実な推進

- (1)都市の基盤整備
- (2)各地域との直結
- (3)まちの魅力向上・交流創出

2. 施策のスピードアップに向けた環境整備

- (1)公益性・合理性を実現する土地収用手続き等の積極的活用
- (2)官民連携による公共用地取得業務の加速
- (3)公共用地取得における不公平感の解消
- (4)地籍調査の早期の進捗率向上

3. まちづくりにおけるGX・DX推進

- (1)まちづくりにおけるGX推進
- (2)まちづくりにおけるDX推進

挑みつづける、変わらぬ意志で。

